



常葉大学
TOKOHA UNIV.

2021

常葉大学 地域貢献センター

活動報告



目次

地域貢献センターのご案内	2
地域貢献センター長 ご挨拶（『地域貢献の未来 ―With コロナ時代の地域貢献活動―』）	
地域貢献センター開設の目的	
地域貢献センターの取組・業務内容	
大学と地方自治体等との包括的連携協定	
学内外の助成を活用した連携事業	5
地域交流・連携推進事業（学内事業）	
しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業	
藤枝市地域政策研究・創造事業	
ふじのくに地域・大学コンソーシアム「ゼミ学生地域貢献推進事業」	
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業	
地域連携活動の事例紹介	7
包括的連携協定協定先との連携による事業	
地域や企業・団体等との連携による事業	
学生の地域貢献活動への支援	11
とこは未来塾 ～TU can Project～	
事業報告会	
公開講座等の開催	14
大学公開講座	
市町等との連携による講座等	
地域からの期待と活躍する学生	17
事例紹介	

地域貢献センターのご案内

地域貢献センター長 ご挨拶

地域貢献の未来 —With コロナ時代の地域貢献活動—



常葉大学 地域貢献センター長
木村 佐枝子

2021年度地域貢献センター活動報告書を発刊する運びとなりました。学内外の皆様におかれましては、地域貢献センターの活動にご支援・ご協力を賜わり、深く御礼申し上げます。

2021年度は1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックが緊急事態宣言下で開催され、多くの会場が無観客となりました。本学でも多くの学生がボランティア活動を予定しておりましたが、残念ながらその機会が失われてしまいました。一方、自分たちができることを模索した1年でもありました。一例としては、浜松市内の小・中学校でのオリパラ教育推進において、学生がスポーツへの理解、関心強化のために授業補助や体験授業を行いました。また、7月に起こった熱海の土石流災害では多くの住民の命が奪われ、未だに避難生活を送られています。本来であれば現地での支援活動も期待されましたが、コロナ禍のため、学生団体による各キャンパスでタオルの回収や募金活動にとどまりました。このように、2021年度の活動は、コロナと共存しながら地域貢献活動を止めることなく継続していく「with コロナ」の1年となりました。常葉大学は「より高きを目指して～ Learning for Life～」の建学の精神のもと、教育理念のひとつに「地域貢献」を掲げ、地域に貢献できる人材づくりに努めております。

「主役は学生」をモットーとして大学の学びを活かした様々な取組が行われ、そのひとつに学生による自主的な地域貢献活動である「ここは未来塾～TU can Project～」があります。また、開かれた大学づくりの一環として、生涯学習機会を提供する「公開講座」、さらに、教職員の地域貢献活動を支援する「地域交流・連携推進事業」に加え、教員の地域貢献活動の成果を報告する動画配信も新たにスタートさせました。

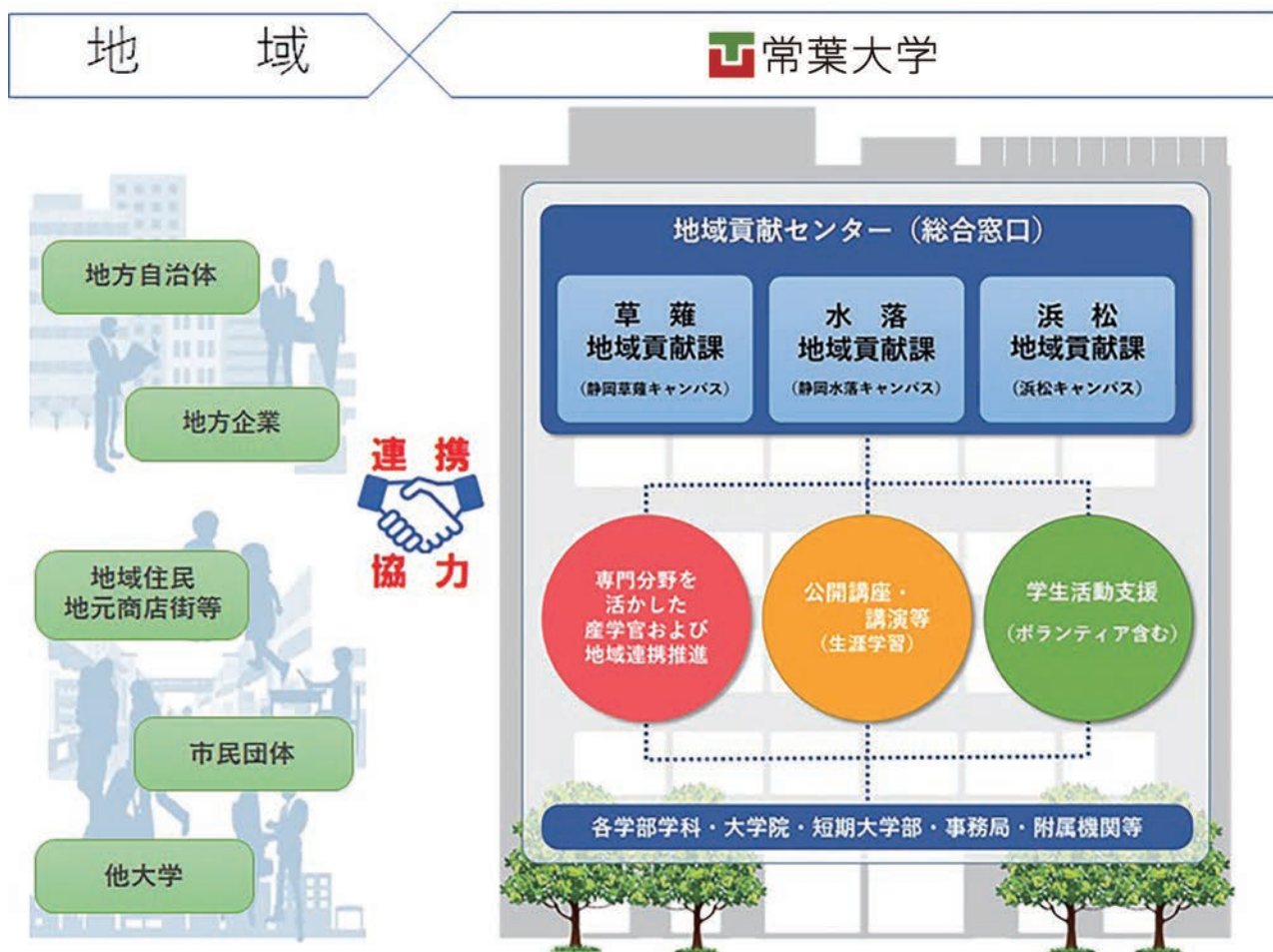
地域貢献の未来はwith コロナだけではなく、after コロナを見据えた活動を大学として支援していく必要があります。地域貢献の根本は、本学教職員、学生が如何に地域と協働して、地域のために役立つことができるかが鍵となります。本学にかかわるすべての皆様へ今後とも、地域貢献活動への尚一層のご理解とご協力をお願いいたします。

地域貢献センター開設の目的

常葉大学は平成30年4月の静岡草薙キャンパス開設を機に、これまで以上に地域に開かれた大学を目指し、組織的に地域への貢献を促進するために、地域貢献センターを開設しました。様々な取組を通じて、地域社会の活性化を図るとともに、地域社会に貢献できる人材を育成しています。また、地域と大学、地域と学生を結ぶ地域連携の拠点として、地域社会の発展に貢献していきます。

地域活性化の必要性を訴える地域の皆様方からの声や、若者が集まる大学に対する高い期待も寄せられています。地域貢献センターは、地域・社会に貢献する学生の活動支援、地方自治体や地元企業等と本学教職員との連携・協力のコーディネーション、地域の諸課題に係る情報収集・分析・調査、公開講座の運営など幅広い支援業務を実施しています。

～地域課題を解決し、学生の主体性を育てる新たな拠点へ～



地域貢献センターの取組・業務内容

専門を活かした産学官 および地域連携推進	公開講座・講演等 (生涯学習)	学生活動支援 (ボランティア含む)	その他
<ul style="list-style-type: none"> ◇ 地元自治体・諸団体との連携 ◇ 学部・学科等の地域貢献活動の支援 ◇ 包括的連携の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 一般の方、地域住民の方(正規学生以外)に対する高等教育の提供 ◇ 外部資源を活かした教育・研究活動の充実 ◇ 施設の開放の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 地元自治体はじめ諸団体との連携協力 ◇ 学部・学科等の地域貢献活動の支援 ◇ 学生独自の地域貢献活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 地域連携に関する情報管理・発信(広報活動)

大学と地方自治体等との包括的連携協定

これまでに協定を締結した自治体等は次のとおりです。

No.	協定書の名称	協定締結先	協定締結日
1	松崎町と常葉大学との包括連携に関する協定書	松崎町	2015年10月13日
2	掛川市と常葉大学との包括的連携に関する協定書	掛川市	2015年11月13日
3	藤枝市と常葉大学との包括連携に関する協定書	藤枝市	2016年3月24日
4	静岡市と常葉大学との包括連携に関する協定書	静岡市	2016年6月14日
5	浜松市と常葉大学との包括連携に関する協定書	浜松市	2017年3月27日
6	特定非営利活動法人掛川市体育協会と常葉大学 浜松キャンパスとの連携に関する協定書	特定非営利活動法人 掛川市スポーツ協会	2017年9月15日
7	常葉大学とI Love しずおか協議会との連携・協力に 関する協定書	I Love しずおか協議会	2017年10月26日
8	静岡市文教エリア等の発展に向けた相互協力に係る 協定書	静岡市内の複数高等教育 機関等	2017年10月26日
9	公益財団法人浜松市体育協会と常葉大学との連携に 関する協定書	公益財団法人 浜松市スポーツ協会	2018年7月27日
10	常葉大学と静岡銀行との相互協力及び連携に関する 協定書	株式会社 静岡銀行	2018年8月28日
11	常葉大学と静岡県警察との包括的連携協力に関する 協定書	静岡県警察	2018年11月1日
12	学生ボランティア活動推進に関する協定書	公益財団法人 日本財団 学生ボランティアセンター	2019年12月16日



学内外の助成を活用した連携事業

地域社会の活性化や進展を目指し地域との連携を推進するため、学内外の助成や補助を受けたプロジェクトを支援しています。（代表者及び担当教員の職位等は採択時点のものです）

地域交流・連携推進事業（学内事業）

本学の教職員が個人及びグループで地域住民や関係機関等と連携して実施する研究に対する支援事業です。

No.	研究テーマ名	代表者
1	スポーツによる地域活性化を目指した「ベルテックス静岡」との連携事業	教育学部 教授 木宮敬信
2	小規模自治体における「チーム学校」を実現する特別支援教育支援員の資質・能力向上モデルの在り方	教育学部 准教授 木村光男
3	多文化共生ファシリテーター育成のための地域自治体との連携プロジェクト	外国語学部 教授 良知恵美子
4	外国人住民への支援と日本人住民の意識涵養を通じた多文化共生社会実現の試み	経営学部 教授 坂本勝信
5	小学生の体力・運動能力向上と指導者養成	健康プロデュース学部 准教授 吉田早織
6	地元「規格外品」などを活用し、食品ロスを意識した商品開発プロジェクト	健康プロデュース学部 講師 杉浦千佳子
7	陸上競技による教職履修者指導力育成プログラムについて	健康プロデュース学部 講師 大川昌宏

※事業報告会は1~6について令和4年9月に実施、7について令和5年度に実施予定。

しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業

しずおか中部連携中枢都市圏と地域大学との連携拡大の促進や、大学の研究成果を地域の発展に活かすことを目的とし、地域課題の解決に向けた方策の提言・実践的な研究を各市町と一体となって実施する事業です。

（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町）

No.	課題名（連携市）	担当教員名
1	新たな働き方に対応した移住促進施策（静岡市）	経営学部 教授 小豆川裕子
2	人口減少が続く中山間地の移住者増加策の検討人生（静岡市）	経営学部 講師 山田雅敏
3	住民主体の効果的介護予防プログラムについて（静岡市）	健康科学部 教授 磯崎弘司

4	「静岡市はマグロ王国」であることの認知度向上（静岡市）	健康プロデュース学部 准教授 中村俊哉
5	「町民1人1スポーツの実現」に向けた事業運営戦略（吉田町）	健康プロデュース学部 准教授 村本名史

藤枝市地域政策研究・創造事業

藤枝市と本学との包括連携に関する協定の一環として、藤枝市の地域課題の解決に向けた学生参加による方策の提言、実践的な研究に対して助成される大学連携研究事業です。

No.	課題名	担当教員名
1	藤枝市の特色を生かした地球温暖化プログラム・イベント効果についての研究	健康プロデュース学部 准教授 中村俊哉

ふじのくに地域・大学コンソーシアム「ゼミ学生地域貢献推進事業」

大学・大学生と地域の交流の拡大を促進し、大学の研究成果を地域の発展につなげることを目的に、地域課題の解決に向けた方策の提言・実践的な研究を各市町や地元企業と一体となって実施する事業です。

No.	課題名（連携先）	担当教員名
1	自転車を活用した地域活性化（富士市）	経営学部 教授 小豆川裕子
2	日本との育児方法の違いから見える外国人が望む支援について（菊川市）	教職大学院 教授 星野洋美
3	学生と企業のミスマッチをなくす魅力的な就職活動のあり方（㈱日本経済新聞社）	経営学部 講師 鈴木章浩
4	自治体新電力会社「かけがわ報徳パワー」のPR手法について（掛川市）	健康プロデュース学部 准教授 中村俊哉

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

浜松市と浜松市内各大学（常葉大学・浜松学院大学・聖隷クリストファー大学・浜松医科大学・静岡文化芸術大学）が相互協力および連携のもと、双方の資源を有効に活用して子供たちへのオリンピック・パラリンピック教育を推進する事業です。

No.	課題名	担当教員名
1	浜松市内小中学校におけるオリ・パラ教育の推進・協力	健康プロデュース学部 教授 小柳好生 他6名

地域連携活動の事例紹介

包括的連携協定協定先との連携による事業

松崎町「石部の棚田」
保全活動に参加

松崎町



「全国報徳サミット掛川大会」
座談会に参加

掛川市



藤枝市ガールズミーティング
に参加

藤枝市



静岡市西奈生涯学習センターの
広報誌を作成

静岡市



葵区オクシズ人口減少対策プロジェクト
「葵区 Move To Okushizu」
に参画

静岡市



登呂博物館の
水田サポーター活動に参加

静岡市



静岡市選挙管理委員会事務局に
投票率向上策を提案

静岡市



「静岡ワーケーション PR 動画」
を作成

静岡市



「しずファン (FUN/FAN)」プロジェクト・
静岡シティプロモーション動画を作成

静岡市





皮膚カロテノイド測定による
野菜摂取の促進活動に協力

浜松市



めざせアスリート
小学生への運動指導

浜松市



中学校の運動部員を対象とした
セルフケア講座を開催

浜松市



浜松市地域スポーツ指導者
資格認定

浜松市スポーツ協会



「浜松市スポーツ少年団交流会」
を企画運営

浜松市スポーツ協会



しずおかランニングパトロール
に参加

静岡県警察、静岡新聞社・静岡放送



サイバー防犯ボランティア
に参加

静岡県警察



特殊詐欺撃退ハンドブックの
教材作成

静岡県警察



高齢者に交通安全を呼びかける
スポットラジオCM収録に参加

清水警察署、交通安全協会、エフエムしみず



地域連携活動の事例紹介

地域や企業・団体等との連携による事業

阿多古和紙の継承活動

奥浜名湖商工会



「新聞カフェ」の開催

静岡新聞社



「Music Festival」、 「絵本のワークショップ」など 子ども向けイベントの開催

浜松市サーラ音楽ホール



助産院のお産パネル展開催

静岡県助産師会

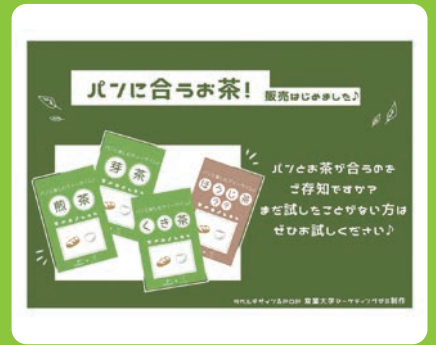


赤ちゃんフォトコンテスト の運営

浜北副都心にぎわいづくり協議会



ピーターパン パンに合うお茶 ラベルデザインとPOP制作 ピーターパン、おやいづ製茶



産学協同のシビックプライド研究 「鷹匠今昔物語」ウォールの デザインを担当

大和ハウス工業(株)



浜松産レモンとセルリーを 利用した「れもん小町」を開発

入河屋



常葉大学附属たちばな幼稚園 とのコラボ企画 「おうえんボード展」を開催

MARK IS 静岡





就労継続支援B型事業所「それいゆ」にてワークショップを開催

NPO法人ひまわり事業団就労継続支援B型事業所「それいゆ」



健康づくりの知識を地域に広げる「健幸アンバサダー」活動

スマートウエルネスコミュニティ協議会



サイクリングマップ『ふじサイクル☆for bicycle lovers☆』制作

富士市



学生と企業のミスマッチをなくすための「適職診断シート」作成

日本経済新聞社



暴言・暴力根絶の啓発ポスター制作

静岡県バスケットボール協会



グランピング施設計画の公开发表

(株)イワセイ、(株)もちひこ



「第6回学生知財活用ビジネスアイデアプレゼン大会」最優秀賞

静岡県産業振興財団



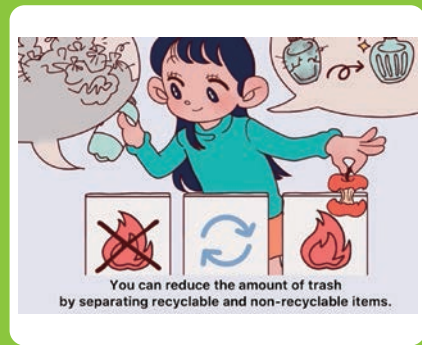
野菜摂取と健康意識の向上を目的としたオリジナルクッキーの開発

洋菓子店ラムセス



焼津市多文化共生プロジェクト

焼津市



学生の地域貢献活動への支援

とこは未来塾 ～TU Can Project～

学生ならではのユニークな「視点と発想」をもち、「熱意と創意」に満ちた自主的・自発的な取組に対し、大学から教員アドバイザーによる助言や活動資金の援助などの様々な支援を行う事業です。このプログラムに取り組むことで、大学が立地する静岡県を中心とした地域社会への貢献を果たすとともに、学生の若い力が地域の活性化に結び付き、最終的に学生の社会性の醸成に繋がることを期待しています。

◆ 令和3年度採択事業

各キャンパスより応募のあった全19プロジェクトのうち、審査の結果17プロジェクトが採択されました。プロジェクトは3つの分野に分かれています。

タイプA：開かれた大学づくり

タイプB：地域貢献・活性化

タイプC：現代的課題解決

No.	分野	プロジェクト名	グループ名
1	B	あそぼうまなぼう小学生 in 夏休み	草薙キャンパス リンク西奈2021
2	B	巴川プロジェクト ～川を町の主役に！～	社会環境学部 小杉山ゼミ
3	B	番町伝承あそび交流プロジェクト 集まれ！とこひろば	保育学部 稲垣ゼミ
4	B	サイエンスカフェ常葉	造形学部 村井ゼミ
5	B	しず茶フェス in 2021	水落キャンパス ミズオチ交流会
6	C	世界の問題 SDGs を絵本と大学生で広げよう	草薙キャンパス Utopia
7	C	保育実習におけるリアリティショックをなくす高大連携プロジェクト-高校の保育コースのキャリア教育について考える-	保育学部 山本睦ゼミ
8	C	目指せ、天然記念物!! ～弁財天川の日本のハイビスカス!!～	社会環境学部 浅見ゼミ
9	C	アオハル！車いす冒険地図 in Shizuoka	保育学部 赤塚ゼミ
10	C	学内における情報スキル教育の支援プロジェクト 「学生の学生による学生のためのポータルサイト実践ガイドの制作」	経営学部 情報学ゼミナール (山田ゼミ)
11	A	親子で学ぶスポーツ外傷対策 (練習前から練習後まで)	健康プロデュース学部 眞鍋ゼミ

12	B	届け！地元の味 目指せ！健康増進	健康プロデュース学部 栄養学科クッキー開発チーム
13	B	小学生防災体験活動 「たのしくあそまなぼうさい」の実践活動	浜松キャンパス 3.11 はままつ東北復光プロジェクト
14	B	高齢者を守る！特殊詐欺被害防止ハンドブックの教材作成	健康プロデュース学部 木村ゼミ
15	B	からだを動かしたくなる仕掛けとイベントで子どもと街を元気にする！	健康プロデュース学部 ぶれぐろラボ
16	C	2020 東京オリパラ選手に対する観光情報を通じた相互交流の実践	経営学部 2020 東京オリパラブラジル選手 ホストタウン交流プロジェクト (村瀬ゼミ)
17	C	常葉大学生の野菜摂取量の増加を目指す仕掛けづくり	健康プロデュース学部 ベジとこ (野末ゼミ、三浦ゼミ)



小杉山ゼミ



ぶれぐろラボ



2020東京オリパラブラジル選手 ホストタウン交流プロジェクト (村瀬ゼミ)



稲垣ゼミ



真鍋ゼミ



Utopia



3.11 はままつ東北復光プロジェクト



浅見ゼミ



村井ゼミ



リンク西奈 2021



赤塚ゼミ



ミスオチ交流会

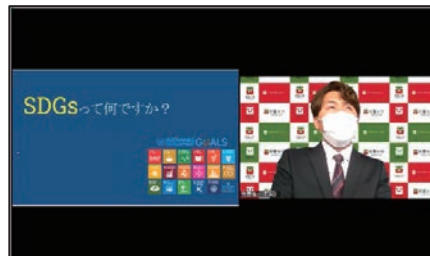
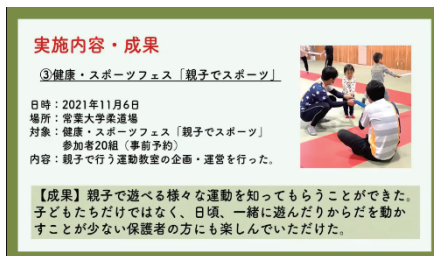
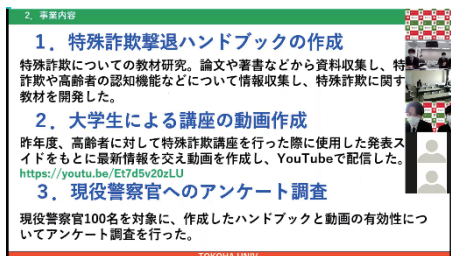
◆ 事業報告会

3月9日（水曜日）に「令和3年度とこは未来塾 – TU can Project – 報告会」を開催しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して、オンライン配信によって全17団体の活動成果を静岡キャンパスと浜松キャンパスから発表しました。



令和3年度の「とこは未来塾」は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令の影響を受け、活動の一時中断を余儀なくされるなど、様々な制約が生じましたが、そのような中においても各団体によって課題解決を目指した活発な活動が行われました。オンラインを活用して地域の親子を対象にセミナーを開催した団体や、地域に植生する希少な植物の保護を目指してドローンを活用した動画を制作した団体など、時勢に合った活動の報告も目を引きました。発表は17団体が3ルームに分かれて行われ、各団体とも10分間の与えられた持ち時間を有効に使用し、アニメーションや動画を活用するなど活動内容を画面の向こう側の相手に伝える工夫を凝らした発表が行われました。



発表後には各団体の学生による交流会をオンライン上で行いました。活動のやりがいや活動中に困ったこと、反省点などを共有するとともに、自分たちの企画の参加者に楽しんでもらうための工夫といった今後の活動へのヒントを得るべく活発な意見交換が行われました。



今回の報告会は、オンライン開催にも関わらず地域の方々や教職員・学生など170名を超える多くの方々にご参加いただき、本学学生の地域貢献活動を知っていただくとともに温かいお言葉や貴重なご意見をいただく機会となりました。3密回避の観点から対面での交流はできませんでしたが、コロナ禍に対応した新しい形式のもと有意義な報告会を実施することができました。

令和4年度の学生の活動にもどうぞご期待ください。



公開講座等の開催

大学公開講座

本学の教育理念の一つである「地域貢献」を目的とし、本学の重要な使命である「諸事業を通じた地域社会の活性化・進展に貢献する」という開かれた大学を象徴する事業の一環として公開講座を実施しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一変した生活において、「多様化するビジネス・生活に役立つ」「人生100年時代を楽しむ」「心の健康・身体の健康を考える」を切り口に18講座（計51講義）を開催しました。

No.	講座名	実施学部	回数
1	ローライゼーションと持続可能な社会： ゲームやディスカッションを通じて、過去・現在・未来の文化を想像する	外国語学部	全3回
2	SDGs × 地域貢献 ～今日からはじめる学びの第一歩～	健康プロデュース学部	全6回
3	サイエンスコミュニケーションのすゝめ	造形学部	全2回
4	思考に気をつけよう。それはいつか言葉になるから… ～情報学におけるメタ認知的思考の実践～	経営学部（草薙キャンパス）	全2回
5	今とこれからを生き抜く心理学の知恵を学ぶ	教育学部	全7回
6	これからの暮らしと「親族法」 ～条文・判例から学び、考える～	法学部	全3回
7	ウイズコロナの職場と人材マネジメントを考える	経営学部（浜松キャンパス）	全2回
8	動画による演奏を楽しもう ～聴衆の立場と配信の立場～	短期大学部音楽科	全2回
9	四言語から学ぶ日常会話の表現と異文化理解	外国語学部	全4回
10	美術館学芸員の仕事を実習する（資料の扱い方）	教育学部	全1回
11	大人が絵本をひらくとき Vol. 8	短期大学部日本語日本文学科	全3回
12	地域資源としての文学を学ぶ～小泉八雲～	外国語学部	全2回
13	歴史家 木宮泰彦はおもしろい？	外国語学部	全3回
14	科学と哲学 ～新しい世界観に向けて～	経営学部（浜松キャンパス）	全2回
15	英語のヒット曲から学ぶ英語の発音〔Part 2〕 ～発音のルールとリスニングのコツ～	外国語学部	全2回
16	健康寿命延伸のために今やるべきこと ～運動・睡眠・栄養について～	保育学部	全3回
17	痛みに対する知識と運動 ～痛みを知って、安全に運動しよう～	健康プロデュース学部	全2回
18	予防医学を学ぼう！	健康科学部	全2回

市町等との連携による講座等

自治体や地域の生涯学習施設等と連携し、講義を実施しています。地域特性や受講生のニーズに合わせ、本学の知的資源を活かす内容を提供しています。令和3年度に実施した講座の一例を紹介します。

講座名	実施学部
静岡市生涯学習センターと常葉大学との共催講座 <ul style="list-style-type: none"> ・「フレイルにならないために」 全3回 ・「日本人の常識は非常識?～世界は広い、まだまだ知らないことばかり～」 全4回 ・「平家物語の世界」 全2回 ・「英語で読み解く国際ニュース」 全3回 ・「ハザードマップから考える防災講座」 全3回 ・「三木卓を読む～少年が見た戦争と〈満洲〉～」 全3回 	健康科学部 外国語学部 教育学部 外国語学部 社会環境学部 教育学部
静岡市生涯学習センター/交流館での出前講座 <ul style="list-style-type: none"> ・「親が知っておくべきスマホの危険回避法」(葵) ・「ハロウィンのおはなし&ランタンづくり」(北部) ・「印象アップ!明日から使える香水講座」(西奈) ・「あそぼうまなぼう小学生 in 夏休み」(西奈) ・「あそぼうあそぼう ABC in クリスマス」(西奈) ・「常葉大学人材養成講座」(西奈) ・「にしな歴史マップ作り」(西奈) ・「婚活コミュニケーション講座」(西奈) ・「夏バテ防止に睡眠習慣を見直そう」(西奈) ・「天気のおふしぎ」(西奈) ・「女性学級 西部ときめき女子カレッジ」(西部) ・「わたしのまちの防災講座～避難所運営について知ろう～」(藁科) ・「地域防災講座」(藁科) ・「藁科家庭教育学級 知っておきたい「勉強」のはなし」(藁科) ・「子どもの創造力を育むヒント～創造力の形成と発達～」(南部) ・「睡眠から考える健康～睡眠と運動習慣～」(長田) ・「カルタでめぐる大里探訪」(大里) ・「大里かるた大会」(大里・大里地域探訪プロジェクト) ・「高齢者学級みのり大学」(葵・北部・西奈・西部・南部・長田) ・「日本文学講座 万葉集をよむ」(船越) ・「『曾我物語』を読む」(不二見) ・「『万葉集』を読むー「令和」との関わりを通してー」(有度) ・「Women's Health ～健康的な体づくり～」(有度) ・「家庭でできる英語遊び ー歌と絵本とちょっと手遊びー」(有度) ・「発達心理からみた学校が苦手な子ども達への対応」(有度) ・「フレイル予防で健康長寿!」(庵原) ・「清水の歴史的な景観と建築」(駒越) ・「防災講座」(岡) ・「歴史講座(北条義時)」(高部) ・「地域防災講座」(浜田) ・「『平家物語』巻一「祇王」にみる平清盛の不思議」(清水) 	教育学部 外国語学部 短大部日本語日本文学科 教育学部 教育学部 短大部日本語日本文学科 大学院初等教育高度実践研究科 短大部日本語日本文学科 健康科学部 教育学部 教育学部 社会環境学部 社会環境学部 保育学部 健康プロデュース学部 健康科学部 大学院初等教育高度実践研究科 大学院初等教育高度実践研究科 各学部 教育学部 教育学部 教育学部 健康科学部 外国語学部 教育学部 健康科学部 造形学部 社会環境学部 教育学部 社会環境学部 教育学部

<p>静岡市大学リレー講座（全5回の講義を静岡市内5大学が連携して実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「17パートナーシップで目標を達成しよう」 <p>科学技術コミュニケーションのすゝめ</p>	<p>造形学部</p>
<p>浜松市と大学との連携事業 大学生による講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魚料理に挑戦しよう！いわしを使った簡単な料理を作ります」 1回 ・「めざせアスリート 走る、跳ぶ、勝つための筋肉の動き」 計2回 ・「親子で Let's dancing」 1回 ・「自分でできるセルフケア」 計5回 ・「Walking を Thinking」 計2回 	<p>健康プロデュース学部 // // // 保健医療学部</p>
<p>浜松市民アカデミー（全9回の講義を静岡県西部8大学が連携して実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「認知症と神経変性疾患」 	<p>保健医療学部</p>
<p>富士市民大学前期ミニカレッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地学講座 富士山と駿河湾に学ぶ自然と地質の奥深さ」 地形に残された歴史上の記録 なぞ多き歴史上の津波とこれからへの備え ・「富士市にまつわるエトセトラ～あなたのまちを再発見～」 富士市と曾我物語 	<p>社会環境学部 教育学部</p>
<p>富士宮市民カレッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「防災を学ぶ～震災後10年の今」 	<p>社会環境学部</p>
<p>吉田町シニアカレッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIの新たな潮流 ・安全・安心な食生活を送るために 	<p>経営学部 健康プロデュース学部</p>



地域からの期待と活躍する学生 事例紹介

地域活動

JFN ラジオ
CM コンテストで
ブロック賞を受賞



地域活動

焼津市
「日本語を母語としない
児童生徒のための
進路ガイダンス」で発表



地域活動

国立中央青少年交流の
家より表彰



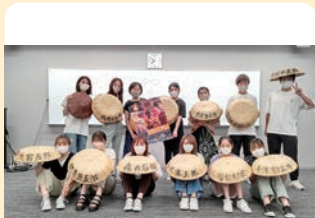
地域活動

I Love しずおか協議会
おまちクリーン
キャンペーン参加



地域活動

清水エスパルス ×
清水みなと祭り
コラボレーション
イベント参加



地域活動

放置竹林の活用と整備活動



地域活動

大学生の野菜摂取量増加の
啓発活動



地域活動

下校見守りボランティア



スポーツ(健康)

からだを動かしたくなる
仕掛けづくりと
イベントの開催



スポーツ(健康)

親子で学ぶ
スポーツ外傷対策講座



スポーツ(健康)

健康・スポーツフェス



スポーツ(健康)

高橋尚子
ランニングクリニック
運営に協力



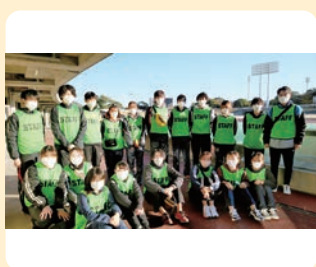
スポーツ(福祉)

聖火ランナーに参加



スポーツ(福祉)

静岡県障害者
スポーツ大会
陸上競技大会に協力



子育て支援

キッズオープンキャンパス



子育て支援

「とことこ広場」の開催



子育て支援

「むかしの遊びを知ろう！」
小学校イベント開催



子育て支援

こどもむら



子育て支援

静岡県立こども病院
こども支援活動



被災地支援

令和3年7月
静岡県東部豪雨災害
募金活動・支援活動



被災地支援

3.11 はままつ
東北復光プロジェクト



被災地支援

静岡県熱海警察署長より
感謝状を贈呈/
熱海市伊豆山土石流災害
ドローン技術での
災害警備活動の支援



被災地支援

台風19号災害支援活動



芸術(美術)

浅間神社の
大絵馬「寅」を制作



芸術(音楽)

短期大学部音楽科
ウインド・オーケストラ
定期演奏会



芸術(美術)

「鎌倉殿の13人
伊豆の国 大河ドラマ館」
PR デザインを制作



防災

防災ハンドブック・
防災動画の作成



防災

Radio-f
(富士コミュニティエフエム放送)の
防災番組に出演



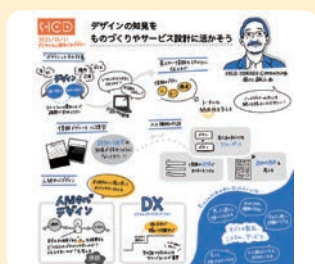
まちづくり

地域の魅力を
発信する動画作成



まちづくり

駿東郡清水町で町民参画
ワークショップの
グラフィック
ファシリテーションの実施



福祉

認知症予防講座



多文化共生・学習支援

外国籍の中学生たちと
オンライン交流



発行 令和4年9月

常葉大学 地域貢献センター



常葉大学
常葉大学短期大学部

<https://www.tokoha-u.ac.jp/>

<https://www.tokoha-jc.ac.jp/>



[草薙地域貢献課]

〒422-8581 静岡市駿河区弥生町 6-1
TEL : 054-297-6142

[水落地域貢献課]

〒420-0831 静岡市葵区水落町 1-30
TEL : 054-297-3200

[浜松地域貢献課]

〒431-2102 浜松市北区都田町 1230
TEL : 053-428-6748